

公示日:2025年12月17日

ANIORU'S CUP 2026

アニオールズカップ2026

(外洋学連杯2026)

レース公示

Notice of Race

【開催期間】2025年2月20日(金)～2月22日(日)※23日予備日

【開催場所】三河みとマリーナ(愛知県豊川市)

【主 催】JSAF特別加盟団体 日本学生外洋帆走連盟

【運 営】日本学生外洋帆走連盟 ANIORU'S CUP 2026実行委員会

【後 援】JSAF加盟団体 外洋東京湾、JSAF加盟団体 外洋三崎

JSAF加盟団体 外洋湘南、JSAF加盟団体 外洋東海

JSAF加盟団体 三浦外洋セーリングクラブ(予定。順不同)

1. 規則

- 1.1. 本レガッタには『セーリング競技規則』2025-2028(以下RRS)に定義された規則を適用する。
- 1.2. 帆走指示書に添付されたハンドリングボート規則が適用される。
- 1.3. クラス規則は適用されない。
- 1.4. 本レガッタには、“World Sailing Appendix UF(アンパイア制フリートレース規則)”『ANIORU'S 2026』が適用される。なお、当該規則は後日公開される帆走指示書の付属文書として公開される。
- 1.5. レース公示の変更は、当該変更が発行する当日の8:00までに公式掲示板に提示される。

2. 資格及び参加

2.1. 乗員の参加資格は以下の通りとする。

- 2.1.1. 全乗員は日本学生外洋帆走連盟(Japan Intercollegiate Offshore Federation: 以下 JIOSF)に加盟する団体に所属していること。
- 2.1.2. 全乗員は大会申込時点でJSAF(日本セーリング連盟)の2025年度会員であること。
- 2.1.3. 全乗員はJIOSFの連盟員であり、2026年2月20日(金)時点で同一大学に所属し、大学入学3年以内であること。編入生に関しては編入1年以内であること。
- 2.1.4. 参加校数が5校未満となる場合は、以下に定める参加基準を満たした乗員で構成されたチームのオープン参加を可能とする。その場合、2.前項で定めた乗員以外に、「同一大学に所属しないJIOSFの連盟員」もしくは過去に「JIOSFの連盟員だったOB/OG」の乗員も参加を可能とする。ただし、これらの乗員はレース委員会の承認を得なければならず、たとえ上記の参加基準を満たしていたとしてもレース委員会はこれらの乗員の参加を承認しなくてもよい。

2.2. 艇長の参加資格は以下の通りとする。

- 2.2.1. 艇長は小型船舶操縦士免許2級以上を保持していること。
- 2.2.2. 艇長は以下の通りレース経験を有し、申込時に証明を提出すること。
 - 2.2.2.1. 本大会に出場する艇長は全員、公式レースで艇長またはヘルムスマンを2回以上務め、かつその内ヘルムスマンを1回以上務めていなければならない。また、三河みとマリーナ所有のJ24に乗船した経験が1回以上あること。
 - 2.2.2.2. 上に定める「公式レース」とは、以下に該当するものである。
 - ・JSAF加盟団体および特別加盟団体が実施するレース
 - ・その他、レース委員会が上記のレースと同等であると認めるレース

2.3. 参加申込みは以下の通りとする。

- 2.3.1. 参加資格のある大学は2月2日(月)23:59までに下記の書類をANIORU'S CUP 2026 実行委員会宛にメールで送付すること。
 - ①参加申込書及び誓約書(PDF形式)
 - ②艇長の小型船舶操縦士免許の写し(PDF形式)
- 2.3.2. 参加資格のある大学は2月2日(月)23:59までに下記の書類をANIORU'S CUP 2026 実行委員会宛にメールで送付し、参加料を指定する口座に振り込むこと。
 - ③乗員登録書(Excel形式)
 - ④艇長のレース経験証明書(PDF形式)
 - ⑤全乗員の JSAF 会員証の写し(PDF形式)
 - ⑥セーラーズ保険(スポーツ団体保険)あるいは、それに相当する個人傷害保険に加入していることが証明できる書類等(PDF形式)
 - ⑦チーム紹介(Word形式)

*上記の資料の内、1,3,7は日本学生外洋帆走連盟のホームページにてダウンロードできる。

HP: <https://aniorugakurenn.wixsite.com/website>

2.4. 参加申込書等送付先

Email: info.jiosf@gmail.com

2.5. レイト・エントリーは2月9日(月)23:59まで認める。

3. 参加料

振込期限は2月2日(月)23:59までとする。

(レイト・エントリーの場合は2月14日(金)23:59まで認める。)

・参加料: 1チーム100,000円

(レイト・エントリーの場合は110,000円とする。)

振り込み先: ゆうちょ銀行

店名 : ゼロイチハチ(〇一八) 店番:018

口座番号 : 6591065

口座名義 : アニオールズカップ実行委員会

・振り込み手数料は参加者負担とする。

・大学名で振り込みをすること。

4. 選手とのコミュニケーション

4.1. 大会本部は三河みとマリーナ1階に設置される。

4.2. 公式掲示板はSlackを用いる。詳細は帆走指示書に記載する。

4.3. 緊急の場合を除き、レース中の艇は音声やデータを送信してはならない

4.4. レース艇とコミッティボート間の通信手段は、携帯電話を使用する。艇を代表する電話番号を参加申込書に記入すること。

4.5. 各艇は上記の要領で記入した携帯電話について、出艇中レース委員会からの連絡に常時応答できるようにしておくこと。

5. 日程

5.1. レース日程

2月19日(木)

18:00 艇長会議、艇体割り振り(オンライン開催)

2月20日(金)

12:00 大会受付、体重測定

13:00 艇体チェック

2月21日(土)

07:45 大会受付、体重測定

08:00 開会式、艇長会議、艇体チェック

09:00 競技艇ドックアウト

09:55 第1レースの予告信号

2月22日(日)

08:15 艇長会議、艇体チェック

08:30 競技艇ドックアウト

09:25 第1レースの予告信号

16:00 閉会式(予定)

16:15 親睦会(予定)

- 5.2. 2月23日(月)は予備日となる。2月21日(土)、2月22日(日)に荒天その他諸般の事情により予定されていたレース数が消化できなかった場合、大会実行委員会の判断により2月23日(月)にレースが実施されることがある。
- 5.3. 2月19日(木)の艇長会議、艇体割り振りはオンライン形式(ZOOM)で行う。ZOOMのURLは前日までに公式掲示板に掲載する。
- 5.4. 2月20日(金)の大会受付、体重計測は、大会本部を集合場所とする。集合できない乗員がいた場合に限り、2025年2月21日(土)7:45に大会受付、体重測定を行う。
- 5.5. 2月20日(金)の艇体チェックはレース委員会の担当者と各艇の艇長が共同で行わなければならない。艇体チェックが完了し次第、レース海面で練習を行うことを認める。
- 5.6. 開会式、艇長会議及び閉会式は、大会本部を集合場所とする。
- 5.7. 艇体チェックは、レース委員会の担当者と各艇の艇長が共同で行わなければならない。艇体チェックが完了し次第、速やかに出艇申告を行うこと。なお、出艇申告フォームのURLは公式掲示板に後日掲載する。
- 5.8. 大会最終日は14:25より後に予告信号が発せられることはない。
- 5.9. 最終レース終了後、三河みとマリーナに帰着して速やかに着艇申告を行うこと。なお、着艇申告フォームのURLは公式掲示板に後日掲載する。
- 5.10. 着艇後にブリーフィングを行う。着艇したら艇長は速やかに大会本部に集合すること。
- 5.11. 本大会は最大7レースを予定している。
- 5.12. 本大会は2レースの完了をもって成立する。
- 5.13. これらの予定は当日変更する場合があり、その際は速やかに公式掲示板、または乗員登録書に記載された携帯電話に連絡される。

6. 乗員の登録及び乗員交代の要件

- 6.1. 1チーム最大8名まで乗員を登録することができるが、レース中の乗員の人数は最低4名最大6名とする。また上限体重は400kgとする。
- 6.2. 乗員の体重は大会受付時に測定し、大会期間中はこの測定結果を使用する。
- 6.3. 乗員の交代は、下記項目全てを満たしている場合にのみ許可される。
 - 6.3.1. 交代する乗員は、乗員登録書に記載されている者であること。
 - 6.3.2. 乗員数は大会を通して同一であること。
 - 6.3.3. 艇長及びヘルムスパーソンの交代は認められない。但し、レース委員会が事前に認めた場合はこの限りではない。
 - 6.3.4. 乗員の交代をする場合は、出艇前に交代する乗員の氏名をレース委員会に申告していること。なお、乗員変更は1日単位でのみとし、日付が同じレースごとでの乗員変更は認めない(洋上での乗せ換えは行わない)。

7. 帆走指示書

帆走指示書は1月30日(金)23:59までに大会ホームページに公開される。

8. 開催地

- 8.1. 大会本部は三河みとマリーナ敷地内に設置する。
- 8.2. レース海域は三河みとマリーナ周辺海域とする。

9. コース

レースコースは風上/風下コースとする。

10. ペナルティ方式
"World Sailing Appendix UF(アンパイア制フリート規則)"『ANIORU'S 2026』(付属資料2)に記載(要参照)
11. 艇体
 - 11.1. 本大会の期間中、主催団体は参加大学に三河みとマリーナ所有のJ/24を貸与する。
 - 11.2. 競技艇の貸与を受けるにあたってのJ/24使用マニュアルを別途付属文書として配布する。艇長を含めた乗員全員が熟読すること。
 - 11.3. 2月21日(土)と2月22日(日)に使用する競技艇の割り振りは、各日ごとに抽選で決定する。2月20日(金)に練習などで艇を使用する場合は、22日の競技艇として割り振られた艇を使用する。
 - 11.4. 艇の違いは救済の対象とはならない。
 - 11.5. 参加者は貸与されている艇体であることを常に意識し、破損させることがないよう最大限の注意を払うこと。
 - 11.6. 艇に損傷が起こった場合には、実行委員会が損害を受けた備品を修理または交換、業者への修理依頼を行う。損傷の大きさ及び、使用可能な交換備品によっては、実行委員会が即時に競技艇を修理することができない可能性があることを了承すること。
 - 11.7. レース委員会の許可なしに艤装品を競技艇に持ち込み、また競技艇から取り外すことを禁止する。
 - 11.8. 競技艇に持ち込み可能な備品を以下に記載する。なお、下記以外の備品を持ちこみたい場合は、備品持ち込み申請フォームを記入し、大会期間前は問い合わせ先まで、大会期間中は大会本部まで申告し承認を得ること。なお、備品持ち込み申請フォームのURLは公式掲示板に後日掲載する。
 - 11.9. 持ち込み可能な備品
 - ・コンパス
 - ・ワインチハンドル
 - ・工具
 - ・リペア用具
 - ・救急用品
 - ・ハンディーGPS
 - ・双眼鏡
 - ・ライフジャケット
 - ・メインシート
 - ・ジブシート
 - ・スピシンシート
 - 11.10. 備品がハルより外に出るように装着することは認めない。また、レース委員会はその裁量によって備品の取り外しなどを各艇に命じることができる。
 - 11.11. 各競技艇のチューニングは初日の艇体チェックまでに、イーブンな状態にされる。参加者は、ステイ(バックステイを除く)やライフラインの調整及びその他の艤装品の変更や艇の改造をしてはならない。メインシートトラベラーは固定されている。疑問点のある場合はドックアウトまでに大会本部に申告すること。
 - 11.12. レースでのGPSおよびその他航海計器の使用は許可しない。GPSの使用は、レース以外の出入港時等に限る。しかし、例外として、COG、SOGのみを表示するデジタルコンパスと磁気コンパスのレース中での使用は許可する。
12. 得点

- 12.1. シリーズの成立には、最低2レースを完了することを必要とする。
 - 12.2. 完了したレースが4レース未満の場合、艇のシリーズ得点はレース得点の合計とする
 - 12.3. 4レース以上完了した場合は、艇のシリーズ得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。これは、付則Aを変更している。
13. **支援艇**
支援艇を出艇させる場合は事前にレース委員会に報告し、配布されるピンク色旗を掲揚しなければならない。
 14. **停泊**
レース艇は大会期間中、三河みとマリーナ内の指定場所に係留しなければならない。
 15. **潜水用具とプラスチック・プール**
レガッタ中、水中呼吸器具、プラスチック・プールまたはそれらに類する物は、キールボートの周辺では使用してはならない。
 16. **上架の制限**
競技艇は、レース委員会が認めた場合を除き上架してはならない。
 17. **賞**
総合1位から3位までに賞状を授与する。
 18. **大会の中止の条件**
 - 18.1. 公的機関から大会中止の指示がされた場合。
 - 18.2. 主催団体が中止を判断した場合。
 19. **保険**
 - 19.1. 大会で使用される J/24 は以下の保険に加入している。
 - * 船体保険: 45 万円 免責: 5 万円 (マスト折損は除く)
 - * 賠償責任: 1 億円
 - * 搭乗者傷害普通条件: 1名 1,000万円 1事故 7,000万円(10名)
 - * 捜索救助費用: 1事故 200万円
 - 19.2. 損害・故障を発生させた場合、免責分の支払い責任は当該大学に発生するものとする。
 20. **責任の承認**
RRS 規則 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であること合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、疲労による傷害のリスクの増大などがある。主催団体、ならびに公認、後援、協賛、協力団体は、レガッタ前後ならびに期間中に生じた物理的損害、身体的障害、精神的障害もしくは死亡に対していかなる責任も負わない。
 21. **肖像権・個人情報の公開**
 - 21.1. 大会期間中の肖像権は主催団体に帰属する。大会期間中の映像、写真、及び

- シリーズの成績は主催団体のWEBサイトやSNSに掲載される場合がある
- 21.2. 提出された個人情報は、本人の同意がない限り第三者に提供されることはない。

22. 大会に関する問い合わせ

問い合わせ、質問はE-mailのみで対応する。

- ・大学名、質問者氏名を明記し問い合わせること。
- ・質問内容と回答は公式掲示板に開示することがある。

ANIORU'S CUP 2026 実行委員会

実行委員長 源優介

E-mail: info.jiosf@gmail.com

HP: <https://aniorugakurenn.wixsite.com/website>